

須賀川市立義務教育学校「稲田学園」学園だより

とう 雲 稲雲

令和7年5月15日発行

令和7年度 第3号

発行者：校長 田中 朗裕



○第1回 PTA 親子奉仕作業お世話になりました

5月11日（日）の朝6時から「第1回 PTA 親子奉仕作業」を実施しました。前日が雨で順延となりましたが、多くの保護者の皆様のご協力、そして児童生徒のがんばりにより、校地内がきれいに除草され、気持ちよく運動会を迎えられそうです。本当にありがとうございました。



○第1回避難訓練を実施しました

4月30日（水）の3校時に、第1回の避難訓練を実施しました。大きな地震が発生した場合の避難のしかたと併せて「避難経路」の確認も行いました。昨年度、須賀川消防署の方から「防火扉が閉まっているだけで、景色が全然違って見えるので、扉が閉まった状態での避難訓練を実施した方がいい。」というお話を聞き、防火扉が閉まっている時の通行のしかたを身に付けるために、一人ずつ防火扉の中の小さな扉を通り抜ける体験も行いました。学んだことを生かして、「自分の命を自分で守る力」を身に付けてほしいと思います。



○「ようこそなかよし集会」を実施しました!!

5月9日（金）に1・2年生が「ようこそなかよし集会」を実施しました。1年生が2年生に校舎を案内してもらいながらスタンプやシールを集めたり、2年生と一緒に輪投げやけん玉などの「昔遊び」を楽しんだりしました。1年生のキラキラした目と2年生がお兄さん、お姉さんとして優しく接する姿を見て、温かい気持ちになりました。この集会のおかげで、1年生の26名が学校に慣れて、楽しく、生き生きと生活することができると思います。



○「県中地区陸上競技大会」の壮行会を実施しました!!

5月9日（金）に、5月14日（水）・15日（木）に田村市陸上競技場で行われる「県中地区陸上競技大会」の壮行会を実施しました。今年度本校からは9名の生徒が出場します。壮行会では、出場選手一人一人が決意を発表しました。代表生徒からの「激励のことば」、応援団と後期課程の全生徒からの力強い応援もありました。出場する選手は、自己ベストの更新を目標に、全力で競技に取り組んでほしいと思います。



○令和7年度児童生徒会総会を実施しました

5月12日（月）に、令和7年度の児童生徒会総会を実施しました。新しい試みとして、総会要項は印刷せずに、タブレット上で確認できるようにしながら実施しました。本校の児童生徒会は「日本一の児童生徒会」という目標を掲げて、5～9年生で活動しています。総会の最後には、児童生徒から学校への質問や要望がいくつか述べられました。児童生徒が自分たちの学校のことを真剣に考えていること、そして自分たちの手で学校を作ろうとしていることがわかり、とても嬉しくなりました。今回の総会を通して、一人一人が「稲田学園」をよりよい学校にするために「自分にできること」と「みんなでできること」を実践していってほしいと思います。



○本番に向けて、準備が進んでいます!!

5・6年生の鼓笛が進化を続けています。それぞれのパートの音やリズムが合わずに苦労をしている姿がたくさん見られましたが、練習の成果が表れてきました。17日（土）の運動会、そして21日（水）の鼓笛パレード当日の演奏が楽しみになってきました。



随 想 「よりよい稲田学園へ」 ～児童生徒が学校を変えること～

5月12日の児童生徒会総会において、児童生徒から学校行事や部活動、学校のきまり等についての質問がありました。本校に赴任してから「子どもたちを学校経営に参画させたい」という思いを教職員や児童生徒に伝えてきました。変化の激しい現代社会では、変化を受け止めて、適切に行動することが非常に難しくなります。主体的に自分や仲間たちの生活、所属する社会（学校や地域）について考え、判断し、行動する必要があると思っています。先日の児童生徒会総会が、まさにその「最初の一歩」を踏み出した瞬間だったと思っています。自分たちの学校に関心をもち、「なぜなのだろう?」、「こうした方がいいのではないか?」と考え始めたことが伝わり、本当に嬉しくなりました。

学校側からの説明の中で、「これから私たちと話をしましょう。」と投げかけてくれた先生がいました。これを機に、児童生徒が考え、学級や委員会で話し合い、そして私たちと話し合うことを通して、「学校の主役は自分たちだ」という思いが強くなると思います。きまりが変わるかも知れません。きっと児童生徒にとって、居心地のよい、一人一人が輝ける「稲田学園」へと変わっていくと思います。そして、主体的に行動して何かを変えるという体験は、今後の人生でも、児童生徒の大きな力になると信じています。